

BIM 国際大会「buildingSMART International Summit - Tokyo 2026」において

「令和の万葉大茶会 in 羽田」を開催

『多摩川にさらす手作りさらさらに 何そこの児のここだかなしき (巻14・3373) 東歌』

*The pretty girl rinses cloth in the Tama River -more and more-
why does she seem so Sweet and cute?*

～日本の伝統文化(万葉衣装や能)と能登のキリコを(多摩川河口の羽田空港から)世界へ発信～



写真：2025 年 飛鳥・万博大会（万葉衣装）

一般社団法人令和・家持ネットワーク協議会（以下、弊協議会）は、このたび、「buildingSMART Japan」が主催する国際会議「buildingSMART International Summit - Tokyo 2026」（2026 年 10 月 6 日～8 日、会場：ベルサール羽田空港）において、協力事業として「令和の万葉大茶会 in 羽田」を開催する運びとなりましたので、お知らせいたします。

本サミットには世界約 50 カ国から 500 名以上の BIM・CIM (Building Information Modeling/Construction Information Modeling・Management) 分野の関係者が来場する予定であり、「デジタルツインやオープン規格（openBIM）を活用した建設・運輸・土木産業の持続可能な未来」について、また「能登や熊本などの被災地域の復興・復旧への有効な BIM・CIM 活用法」について活発な議論と情報交換が行われます。

※珠洲の海に 朝開きして 漕ぎ来れば 長浜の浦に 月照りにけり (巻17・4029) 大伴家持 (石川県珠洲市)

Rowing out to the sea at Suzu early in the morning, the moon shines brightly over Nagahama Bay.

※聞くがごと まこと貴く奇しくも 神さび居るか これの水島 (巻3・245) 長田王 (熊本県八代市水島町)

Just as I had heard, truly noble and wondrously sublime, it stands with a divine presence— this island of Mizushima.

そこで、各国より来日される世界のトップランナーの皆様を熱烈にお迎えし、まさに**“BIM・CIM の世界的な祭典”**にふさわしい、活気に満ちた熱い三日間にしたいと考えています。また、この国際的な舞台を、日本の**「和のテイスト」**を最大限に体験していただく**貴重な機会**としても位置づけております。

万葉衣装に彩られた奈良時代の幻想的な日本の原風景のなか、「茶道体験」や「能舞台」、「能登のキリコと和太鼓」のパフォーマンスなど、五感で楽しんでいただけます。なお、会場では三菱化工機株式会社提供の水素吸蔵合金配送システム※を展示いたします。（※会場の規程により、当日の茶道のお点前やキリコ点灯に使用する電力は、事前に外部で水素を活用して充電を行った蓄電池により供給いたします。）

「和のおもてなし」の心と「CO2 フリーの未来技術」が響き合うこの特別な空間で、BIM/CIM が目指す持続可能な社会の姿を、体感していただける先進的な演出をお届けします。

以上

「令和の万葉大茶会 in 羽田」 伝統文化×能登復興×水素エネルギー



海外のトップランナーを迎える

梅花の宴×万葉衣装×茶会×能

万葉衣装に彩られた「梅花の宴」の舞台。

茶会形式の演出を通じ、日本の歴史文化を世界へ発信します。

◀ **会場：ベルサール羽田空港**（東京都大田区羽田空港 2-7-1）

【1階 グランドホワイエ 開催スケジュール（予定）】

- ・キリコ展示期間：10/6(火) 9:00～ 10/8(木) 11:00 頃
- ・能登物産展：10/6(火).7(水) 9:00～17:30
- ・能パフォーマンス：10/6(火) 13:15～, 15:30～
- ・万葉茶会コーナー：10/6(火).7(水) 10:30～16:00 頃

※開催時間は変更となる場合があります。

能登のキリコ×和太鼓

能登の祭礼文化を象徴するキリコと和太鼓パフォーマンスを通じ、復興への力を発信します。

ディナー会場 八芳園にて

・太鼓パフォーマンス：10/8(木) 20:30 頃

※事前に水素を活用して充電した蓄電池により能登キリコを点灯予定

馬縹キリコ太鼓 ▶



※水素吸蔵合金配送システム

三菱化工機株式会社が提供する水素による可搬型の電力供給システム。

CO2 を排出せずに電力を供給できます。

企業紹介 | 三菱化工機株式会社

約60年にわたり水素関連事業を展開。水素エネルギーを「つくる」技術から、「貯める・運ぶ・使う」技術へと取り組みを広げています。

同社は那須電機鉄工株式会社、日本フィルコン株式会社と「水素吸蔵合金配送システム」を共同開発。水素を専用タンクに貯蔵・運搬し、利用先で燃料電池により電力へ変換する仕組みで、イベントや災害時などの電力供給への活用が期待されています。

開催概要

開催日 2026年10月6日(火)～8日(木)

会場 ベルサール羽田空港（羽田エアポートガーデン内）／ディナー（10月8日(木)）：八芳園

主催 buildingSMART International Summit - Tokyo 2026
主催：buildingSMART International ／ 一般社団法人 buildingSMART Japan
協力：一般社団法人 令和・家持ネットワーク協議会

参加国・参加見込み 50カ国以上 ／ のべ600名以上

《※当協議会について》

万葉集編纂者・大伴家持ゆかりの地を巡り、新元号「令和」の典拠となった「梅花の宴（家持の父・大伴旅人が大宰府で催した酒宴。）」をお茶会形式で再現する「令和の万葉大茶会」プロジェクトを2020年より展開しており、本イベントは、同プロジェクトの関連事業として位置づけられます。

【お問い合わせ】一般社団法人 令和・家持ネットワーク協議会 | 担当：山中 | s.saito@reiwa-manyou.work
<https://reiwa-manyou.or.jp/concept/>